

NakaNishi ESD通信

中西珈琲を通して学ぶ

ESD とは？

Education for Sustainable Development / 持続可能な開発のための教育

ESDは地球規模の課題を自分のこととして捉え、身近なところから取り組む (think globally, act locally) ことにより、課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そしてそれによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動です。

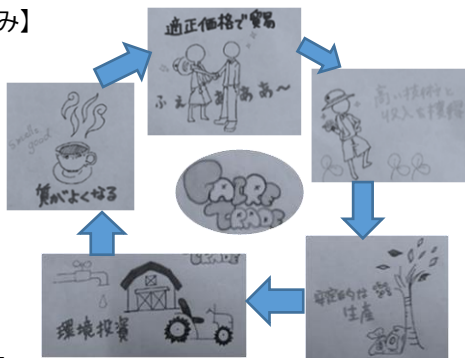
中西珈琲学習班の1学期中の大きな成果は、3つあります。

- ① **ブラジルのサンパウロにある Colégio Passo Seguro** という学校との繋がりができた。
オンライン上での交流ができるようになったので、まずはこちらの紹介をするため**中西紹介ムービーを制作中!**
- ② **フェアトレード**について調べ、理解を深めることができた。2学期以降はフェアトレードマークについてももっと調査〜♪
- ③ 中西コーヒーで使用している**豆の生産者さん達の情報**を get!!

フェアトレードについて

言葉はよく聞けけれど、フェアトレードってなに？フェアトレードマークが付いている製品と、中西コーヒーのようにフェアトレードって言っているにマークがない製品があるのはなぜ？という疑問から調べ学習を開始し、1学期にはフェアトレードの仕組みと種類についてまとめることができました。今まで知らなかったことが沢山あったので、皆さんにもシェアしたいと思います!

【仕組み】



【種類】

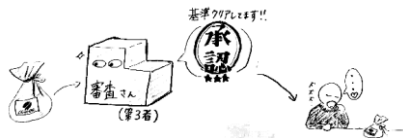
左の図をシヨンシヨン祭りで見てくださいました人もいるでしょうか？

商品が適正価格で取引されると

- 生産者さん達は**その資金を元に高い技術を獲得することができ**
 - 安定的な生産が可能になり**
 - 更に生産のための環境に投資をする余裕もできて**
 - どんどん商品の質が向上!**
 - その質に合った価格で取引されるのでまた収入アップ!!**
- ということで、フェアトレードは生産者の皆さんにも、消費者の皆さんにもとても良い貿易(取引)であることが分かりました。

その1. フェアトレードマークが付いているのは…承認型

公正な取引を実施しているか、安全な労働条件が守れているか、生産者の支援をしているか、環境に配慮しているか など **10項目の基準に沿っているかどうか**、**第三者機関が審査**をした結果、**公正に取引されている製品だ**という承認をしてもらっています。その証の一例がフェアトレードマーク!



その2. フェアトレードマークが付いていないのは…直接提携型

中西コーヒーを作ってくださっている丸山珈琲さんも、この「直接提携型」を採用している企業の1つです。**企業や団体が独自の基準を設定して生産者と直接取引**をしたり**支援**したるのがこちら。生産者さんと直接やりとりをすることで、お互いに信用も生まれ、より良い取引ができると考える場合にはこの方法を選ぶ企業や団体もあるようです。



☆最後に…中西コーヒーに使われている豆の生産者さんを紹介します〜丸山珈琲さんと直接提携〜☆



エルサルバドル
フェルナンド・リマさん
2003年から取引



ケニア
ステファン・ルイタ・ガチエンゲさん
2014年から取引



グアテマラ
ルイス・バルデスさん
2016年から取引